



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月6日  
上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社  
 コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 井上 豊 TEL 03-5550-3735  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	28,624	△2.9	1,509	111.0	642	46.0	△172	—
28年3月期第3四半期	29,493	△5.4	715	246.6	439	172.2	70	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △286百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 15百万円 (△93.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△8.09	—
28年3月期第3四半期	3.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	46,238	9,565	20.5
28年3月期	45,483	9,982	21.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 9,494百万円 28年3月期 9,895百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△0.3	2,000	73.0	1,200	69.0	200	—	9.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	21,350,000株	28年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	17,894株	28年3月期	17,191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	21,332,688株	28年3月期3Q	21,333,807株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、上半期までは、海外経済の減速と円高の影響から輸出が減少し生産が鈍化、個人消費もインバウンド効果の剥落から弱含みに推移するなど停滞感の強い局面が続きましたが、10月以降は、IT関連投資の増加や政府の財政支出の下支え及び円安効果もあって輸出や生産はプラスに転じ、個人消費の回復に力強さが欠けるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられるようになりました。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売数量は増加したものの売価下落の影響により、前年同期比8億69百万円、2.9%減収の286億24百万円となりました。

一方、利益面は、東邦化学(上海)有限公司における営業損益の改善の遅れや、同社での円高による多額の為替差損の発生の影響があったものの、全体としては原材料価格値下がりによる利益率の改善効果等により、営業利益、経常利益共に増益となりました。しかし、親会社株主に帰属する四半期純損益については、厚生年金基金解散に伴う多額の特別損失が発生したため、損失計上となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比7億94百万円増益の15億9百万円、経常利益は、前年同期比2億2百万円増益の6億42百万円、親会社株主に帰属する四半期純損益は、1億72百万円の損失(前年同期は70百万円の利益)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## (界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤が伸長し若干の増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤や乳化重合剤等が伸長し増収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤の需要低迷が続き減収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、消泡剤やサイズ剤等が振るわず減収となりました。繊維助剤は、ガラス繊維用助剤等の海外販売が伸長し増収となりました。農薬助剤は、海外需要向けが落ち込み大幅な減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3億7百万円、2.0%減収の153億円となり、セグメント利益は、前年同期比5億2百万円増益の10億95百万円となりました。

## (樹脂)

石油樹脂は、原料不足による減産を余儀なくされ、大口ユーザー向けの販売が減少、これに売価下落の影響も相俟って大幅な減収となりました。樹脂エマルションは、主力のフロアーポリッシュ用等が振るわず、合成樹脂も一般的に低調で、共に減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2億74百万円、11.3%減収の21億46百万円となり、セグメント利益は、前年同期比0百万円減益の29百万円となりました。

## (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、数量は増加したものの、売価下落の影響が大きく大幅な減収となりました。石油添加剤は、潤滑油添加剤や油水分離剤等の海外向け販売が好調で増収となりました。金属加工油剤は、切削油剤等が低調で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2億52百万円、5.4%減収の44億38百万円となり、セグメント利益は、前年同期比1億55百万円増益の2億69百万円となりました。

## (スペシャリティーケミカル)

溶剤は、一般溶剤での需要の落ち込みやブレーキ液用等の売価下落の影響により、減収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、新規開発品の販売増加が寄与し増収となりました。アクリレートは、電子情報材料関連の需要回復により増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比40百万円、0.6%減収の66億71百万円となり、セグメント利益は、前年同期比2億18百万円増益の3億48百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、462億38百万円と前期末比7億55百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が20億56百万円増加の260億90百万円、固定資産が13億円減少の201億47百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が16億70百万円の増加、受取手形及び売掛金が11億60百万円の増加、たな卸資産が5億63百万円の減少です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が16億29百万円の減少、無形固定資産が1億70百万円の減少、投資その他の資産が4億98百万円の増加です。

一方、負債合計は366億73百万円と前期末比11億72百万円の増加となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が8億82百万円の増加、短期借入金が1億22百万円の増加、未払法人税等が2億64百万円の減少、賞与引当金が2億28百万円の減少、固定負債で、厚生年金基金解散損失引当金が4億90百万円の増加です。

純資産は、95億65百万円と前期末比4億16百万円の減少となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失により3億円の減少、その他の包括利益累計額が1億円の減少です。

その結果、自己資本比率は20.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月7日の「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

## (厚生年金基金の解散)

当社及び連結子会社1社が加入する「日本界面活性剤工業厚生年金基金(以下、「同基金」という)」は、平成27年2月20日の代議員会において解散方針決議を行い解散申請の手続きを進めておりましたが、平成28年10月25日同基金の代議員会で特例解散の決議がなされ、平成29年1月27日付で厚生労働大臣より解散認可及び納付計画承認を受け解散しております。

同基金の解散に伴う代行部分の積立不足額の確定は、基金の清算業務終了時点となり、現時点では確定されておりませんが、平成28年9月30日時点の合理的に算出された積立不足見込み額が明らかになりましたので、第2四半期において、連結損益計算書の特別損失に「厚生年金基金解散損失引当金繰入額」として4億90百万円、連結貸借対照表の固定負債に「厚生年金基金解散損失引当金」として4億90百万円を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,439	7,110
受取手形及び売掛金	8,876	10,036
たな卸資産	8,746	8,183
その他	972	761
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,034	26,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,270	7,490
機械装置及び運搬具(純額)	3,727	2,960
土地	3,146	3,145
建設仮勘定	5	137
その他(純額)	1,782	1,569
有形固定資産合計	16,933	15,304
無形固定資産	931	760
投資その他の資産	3,584	4,082
固定資産合計	21,448	20,147
資産合計	45,483	46,238

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,692	7,575
短期借入金	7,200	7,322
1年内償還予定の社債	300	2,300
未払法人税等	417	153
賞与引当金	384	155
その他	2,131	2,627
流動負債合計	17,126	20,133
固定負債		
社債	5,620	3,620
長期借入金	6,702	6,619
役員退職慰労引当金	111	107
厚生年金基金解散損失引当金	—	490
退職給付に係る負債	4,565	4,584
資産除去債務	59	60
その他	1,316	1,057
固定負債合計	18,374	16,539
負債合計	35,501	36,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,678	5,378
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,325	8,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	1,102
為替換算調整勘定	1,139	661
退職給付に係る調整累計額	△313	△294
その他の包括利益累計額合計	1,570	1,469
非支配株主持分	86	70
純資産合計	9,982	9,565
負債純資産合計	45,483	46,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	29,493	28,624
売上原価	25,294	23,488
売上総利益	4,199	5,135
販売費及び一般管理費	3,483	3,625
営業利益	715	1,509
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	48	50
物品売却益	32	27
その他	38	45
営業外収益合計	124	125
営業外費用		
支払利息	220	189
為替差損	104	743
その他	75	60
営業外費用合計	400	993
経常利益	439	642
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産廃棄損	5	4
減損損失	9	—
投資有価証券売却損	—	2
固定資産売却損	—	3
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	490
特別損失合計	15	500
税金等調整前四半期純利益	424	143
法人税等	353	313
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70	△170
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	70	△172

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70	△170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	358
為替換算調整勘定	△124	△493
退職給付に係る調整額	7	18
その他の包括利益合計	△55	△116
四半期包括利益	15	△286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	△273
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△13

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,607	2,421	4,691	6,712	29,432	60	29,493	—	29,493
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	144	144	△144	—
計	15,607	2,421	4,691	6,712	29,432	204	29,637	△144	29,493
セグメント利益	593	30	114	130	868	38	907	△191	715

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △191百万円には、棚卸資産の調整額 △251百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,300	2,146	4,438	6,671	28,557	66	28,624	—	28,624
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	154	154	△154	—
計	15,300	2,146	4,438	6,671	28,557	220	28,778	△154	28,624
セグメント利益	1,095	29	269	348	1,744	35	1,779	△269	1,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △269百万円には、棚卸資産の調整額 △277百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。